



NEC Expressサーバ・ワークステーション Express5800シリーズ

エクスプレス通報サービス



ONL-041-COMMON-011-99-9910

商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。 EXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の商標です。 Microsoftとそのロゴおよび、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およ びその他の国における登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NTはMicrosofti Windows NTi Server network operating system version 3.51/4.0 およびMicrosofti Windows NTi Workstation network operating system version 3.51/4.0の略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団 体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載 もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承く ださい。

© NEC Corporation 1999

はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズサーバ・ワークステーションをお買い求めいただき、 まことにありがとうございます。

Expressシリーズ本体の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよく お読みになり、ユーティリティを正しくお使いになるようお願い申し上げます。

ソフトウェアご使用の条件

添付のCD-ROM内のソフトウェアを使用するにあたって、添付の「ソフトウェアのご使用条件」 をお読みになり、その内容についてご確認ならびにご承諾ください。

ユーザーサポートについて

ソフトウェアに関する不明点や問い合わせは別冊の「ユーザーズガイド」に記載されている保 守サービスセンターへご連絡ください。また、

http://www.express.nec.co.jp/

Express5800仮想店舗『58番街』:製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載!

http://www.nefs.co.jp/

NECフィールドサービス(株)ホームページ:メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。

エクスプレス通報サービスについて

本書は、エクスプレス通報サービスを導入するにあたり必要となるセットアップ手順に ついて記述しています。

エクスプレス通報サービスをお使いになる前に、必ずお読みください。

このエクスプレス通報サービスに登録することにより、システムに発生する障害情報 (予防保守情報含む)を電子メールやモデム経由で保守センタに自動通報することが できます。本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知したり、 障害発生時に迅速に保守を行ったりすることができます。 また、複数のサーバからの通報を1台のマネージャに転送することによりマネージャ 経由によるエクスプレス通報をすることができます。

また、お客様のサーバ上で動作するエクスプレス通報サービスと、クライアント上で動作する システム監視サービス(DMITOOL)を連携させることでシステムを安定に稼働させることがで きる、クライアント / サーバ型の保守サービス(PC通報連携機能)を提供しています。詳細に ついては、「1.3 PC通報連携機能」をご覧ください。

1 セットアップの準備

エクスプレス通報サービスをご使用になるためには、まず、お手持ちのサーバにエ クスプレス通報サービスをセットアップしていただく必要があります。 セットアップとは、統合セットアップにあるエクスプレス通報サービスのプログラム を、実行できる形式にして固定ディスクにコピーすることです。 セットアップの方法は、「2 セットアップの方法」で詳しく説明しています。

1.1 エクスプレス通報サービスのセットアップ環境

エクスプレス通報サービスをセットアップするためには、以下の環境が必要です。

1)ハードウエア

- ・メモリ
 6.0MB以上
- ・固定ディスクの空き容量 2.0MB以上
- ・モデム
 - ダイヤルアップ経由の通報を使用する場合、モデムが必要です。
- ・メールサーバ 電子メール経由の通報を使用する場合、SMTPをサポートしているメールサーバ が必要です。

2)ソフトウェア

- ・Microsoft® Windows NT® operating system Version 3.51/4.0日本語版 (Server/Workstation)
- ESMPRO/ServerAgent Ver3.0, 3.1, 3.2, 3.3, 3.4
- ・エクスプレスのマネージャ経由を使用する場合は
 - サーバ側: ESMPRO/ServerAgent Ver3.4以降(EXPRESS BUILDER REV:040は含まない)
 - マネージャ側:ESMPRO/ServerManager Ver3.4以降
 - + ESMPRO/AlertManager Ver3.3以降

1.2セットアップに必要な契約

セットアップを行うには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

 本体装置のH / W保守契約、またはエクスプレス通報サービスの契約 本体装置のH / W保守契約、またはエクスプレス通報サービスのみの契約がお済みで ないと、エクスプレス通報サービスはご利用できません。 契約内容の詳細については、購入された販売店にお問い合わせください。

2) 通報開局 F D

契約後送付される通報開局 F D が必要となります。 まだ到着していない場合、通報開局 F D が到着してから、セットアップを行って ください。

1.3 PC通報連携機能

PC通報連携機能は、クライアントで発生した障害の情報を電子メールやモデム経由で 保守センタに自動通報するサービスのことです。このサービスを使用することにより、 クライアントの障害を事前に察知したり、障害発生時、すみやかに保守することが できます。

[重要] PC通報連携機能を使用するには、エクスプレス通報サービス バージョン3.2 以降 がインストールされていなければなりなせん。

PC通報連携機能のセットアップについては、「3 クライアント監視機能のセットアップ方法」 を参照してください。

また、別途PC通報連携機能での契約が必要となりますので、ご購入になった販売店 または保守員にお問い合わせください。

2 セットアップの方法

エクスプレス通報サービスの動作には、ESMPRO/ServerAgent(以下 エージェントと表記 します)の設定が必要です。

エージェントの設定については、「ESMPRO/ServerManager,ServerAgent Ver3.2 Package ユー ザーズガイド」およびオンラインヘルプを参照して下さい。

2.1 エクスプレス通報サービスのセットアップ

以下の手順に従ってセットアップを行います。

[注意] インストールの途中で[終了]ボタンを押して終了すると、以下のメッセージが表示されます。[0K]ボタンをクリックして、インストール途中で設定された内容が解除されるまで待ってください。

エクスフ゜レスゔ	通報サービネ セットアップ 🛛 🗙	I
٩	エクスプレス通報サービスを解除します	
	<u>[</u>]	

- 1) CD-ROM媒体を、CD-ROMドライブに挿入します。
- 2)統合セットアップを起動します。
 以下のダイアログボックスが表示されます。

メインメニュー	
ESMPRO/ServerManager	(Windows 95)
ESMPRO/ServerManager	(Windows NT)
ESMPRO/ServerAgent (W	lindows NT)
関連ユーティリティのメニュ	
	終了
	終了

3)[関連ユーティリティのメニューへ]を選択してください。 [関連ユーティリティメニュー]が表示されます。

4) [エクスプレス通報サービス]を選択してください。

以下のダイアログボックスが表示されます。

エクスフ しス通報サービス セットアッフ 🔀
セットアップを開始します。
- セットアップを中止する場合は[終了]を選 択してください。
〔 続行 ① 終了 E

5)[続行]を選択してください。

以下のダイアログボックスが表示され、インストールが開始されます。 インストールは、1.環境の調査、2.サービスの停止、3.ファイルのコピー、4.レジストリ 情報の設定、5.サービス情報の登録、6.環境情報の設定の順で行われます。

<i>A le.</i> ≖* ->	ボイ Manager 環境の調査中です サービスの停止中です ファイルのコピー中です レジストリ情報の設定中です サービス情報の登録中です 環境情報の設定中です	
ステータス AlertM	anagerMainService を停止しています	

6)エクスプレス通報サービスの概要が表示されますので、[続行]ボタンを選択すると 以下のダイアログボックスが表示されます。

エクスフ°レス通報版サービ*ス セットアッフ°	×
本体装置のH/W保守契約、またはコ ービスのみの契約はお済みですか。	Eクスプレス通報サ
ⓒ 未契約	
○ 契約済み	
続行©	終了但

- 7)契約がお済みでない場合、[未契約]を選択してから[続行]ボタンを選択して セットアップを終了してください。
- 8)[契約済み]を選択して[続行]ボタンを選択してください。 以下のダイアログボックスが表示されます。

エクスフプレス通報サービス セットアッフ	×
エクスプレス通報サービスの フロッビィディスクドライラ さい。)通報開局FDを がに挿入してくだ
通報開局FDが未到着の場合 してください。	、[終了]を選択
続行©	終了Œ

9)通報開局FDをフロッピィディスクドライブに挿入して、[続行]ボタンを 選択してください。

通報開局 F D が未到着の場合、[終了]ボタンを選択して、セットアップを終了してく ださい。通報開局 F D が到着してから再度セットアップを実施してください。

[重要] 通報開局 FDの読み込みに失敗すると、以下のダイアログボックスが表示されます。

エクスフ°レス〕通報サービネ セットアッフ°	х
エクスプレス通報サービスの通報開局FDが フロッピィディスクドライブに挿入されてい ないか、内容が不正です。	
通報開局FDが挿入されている場合、内容が 正しいか送付元にご確認ください。	
フロッピィディスクドライブ 🗛 💽	
再度確認① 終了④	

このダイアログボックスが表示された原因として次のことが考えられます。

- セットされているフロッピィディスクドライブの指定が異なる
- フロッピィディスクドライブに正しくセットされていない
- フロッピィディスクの内容が不正である

いったん「通報開局フロッピィディスク」を取り出して、正しくセットし直した後、フ ロッピィディスクドライブを正しく指定して[再度確認]ボタンをクリックしてください。 それでも同じダイアログボックスが表示されたときは、[終了]ボタンをクリックして終 了してください。その後に「通報開局フロッピィディスク」が正しいかどうか最寄りの 販売サービス拠点へお問い合わせください。 [重要] 「通報開局フロッピィディスク」を契約されたサーバ以外で使用すると以下のダイ アログボックスが表示されます。

エクスフ°レス通報サービネ セットアッフ°	×
サーバ名称が、通報開局FD内のサー/ 契約したサーバ以外でインストールして さい。	ぶ名称と一致していません。 ている場合は[終了]してくだ
続行©	終了Œ

正しい「通報開局フロッピィディスク」があるときは、[終了]ボタンをクリックして いったん終了した後、正しい「通報開局フロッピィディスク」を使用してセットアッ プをしてください。

契約後にサーバ名称を変更したときは、[続行]ボタンをクリックしてください。

10)[続行]ボタンをクリックする。

エクスプレス通報サービスユーティリティが起動します。ユーティリティの詳細な使用 方法は「2.4エクスプレス通報サービスの設定ユーティリティ」、またはヘルプを参 照願います。

エクスフプレス通報サービス セットアップ	×
ユーティリティを起動しま 情報をご確認ください。	ますので、システム登録
〔 続行 ©	終了(E)

11) [次へ]ボタンをクリックして、登録内容を確認する。

画面に表示される「通報開局フロッピィディスク」の設定内容を確認してください。 設定内容が異なるときや未設定項目があるときは設定内容を変更してください。

1927年239年版サービス設定ユーティリティ	エクスアルス通報サービスの設定を行います。 ・ クスアルス通報サービスの設定を行います。 ・ クスアルス通報サービスに登録することにより、システムに発生する 障害情報を電子メールやモデム経由で保守センタに自動通報する ことができます。 ・ エクスアルス通報サービスの説明を見る場合、ヘルフでを押して下さい。 ・ エクスアルス通報サービスの設定を行う場合、次へを押して下さい。
	サービス有効期限の変更(<u>k</u>) サービスの終了(<u>s</u>)
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 12)全ての内容を確認したら、[完了]ボタンをクリックする。
- 13) [OK]ボタンをクリックする。

エクスフ し ス 通報サービ ス セットアップ 🔀
セットアップは完了しました。
セットアップ内容は、システム再起動後有効に なります。
OK

14)システムを再起動する。

エクスプレス通報サービスの機能は、システム再起動後有効になります。

2.2 エクスプレス通報サービスの削除

エクスプレス通報サービスの削除を行う場合は、以下の手順に従って下さい。

- 1) CD-ROM媒体を、CD-ROMドライブに挿入します。
- 2)統合セットアップを起動します。
- 3)[関連ユーティリティのメニューへ]を選択してください。 [関連ユーティリティメニュー]が表示されます。
- 4) [エクスプレス通報サービス]を選択してください。以下の[エクスプレス通報サービス]を 削除する確認ダイアログボックスが表示されます。

エクスフ°レス通車服サービス セットアッフ°	×
エクスプレス通報サービスの削除を行います。	
処理を行う場合は [続行]を選択してください。 中断する場合は[終了]を選択してください。	
〔 続行(C) 終了(E)	

5) [続行]ボタンを選択、削除を実行してください。 PC通報連携がインストールされていると、以下のダイアログが表示されます。

ファイル削除の確認		
?	選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?	
	(III) (NIZM)	

6)「はい」ボタンを押してPC通報連携を削除してください。 PC通報連携の削除が完了すると、以下のダイアログが表示されます。



7)「OK」ボタンを押下して、削除を続行してください。
 以下のダイアログボックスが表示されます。

Alert Managerアンインストーラ
Alert Manager 7>1>X -N
レジストリキー ndis を削除しています

8)以下の削除終了のダイアログボックスが表示されたら、[OK]ボタンを押して終了して下さい。



2.3 BTOでのセットアップ方法

BTO(Build To Order)で既にエクスプレス通報サービスをインストールされている場合にエクスプレス通報サービスを有効にする場合は、以下の手順に従ってください。

- 1)「コントロールパネル」を起動します。
- 2)「ESMPRO/ServerAgent」のアイコンをダブルクリックします。
- 3) アラートマネージャの設定ツールが起動します。「ツール」、「エクスプレス通報サービ ス」、「サーバ」を選択します。
- 4)エクスプレス通報サービスセットアップユーティリティが起動します。通報開局FDをフロ ッピーディスクドライブに挿入して「次へ」ボタンを押下してください。

エクスフプレス通転サービス セットアッププユーティリティ	
	エクスブレス通報サービスのセットアップを行います。 通報開局FDを挿入してD次へJを押してください。
	< 戻る(8) (次へ(1)) キャンセル

5)正常に通報開局FDを読み取れますと、以下のダイアログが表示されます。「完了」ボタン を押下してください。

エクスフペレス通報サービネ セットアッフペユーティリティ	
	エクスプレス通報サービスのセットアップが完了しました。
Completel	なおエクスプレス通報サービスを有効にするには開局通報を 行う必要があります。開局通報はアラートマネージャ設定ツ ールから行うことができます。
complete:	
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

- 6)エクスプレス通報サービス設定ユーティリティが起動しますので、通報開局FDの内容を確認してください。
- 7) エクスプレス通報サービス設定ユーティリティで通報開局FDの内容確認後、エクスプレス 通報サービスは有効になります。

2.4 BTOでの削除

エクスプレス通報サービスの削除と方法が同じです。そちらを参照してください。

2.5エクスプレス通報サービスのマネージャ転送のセットアップ

マネージャ経由エクスプレス通報のマネージャ側にはESMPRO/ServerManagerおよび、ESMPRO/Serve rManagerにESMPRO/AlertManager Ver3.3以降をインストールすると有効になります。インストールの手順は該当するセットアップカードをご参照ください。

2.6エクスプレス通報サービスの設定ユーティリティ

エクスプレス通報サービスの設定ユーティリティは、インストール時に通報開局 F D の内容 を確認するために利用します。またインストール後も設定内容の変更やサービスの終了に利用 します。

インストール後は、アラートマネージャ設定ツールの[ツール]メニューの[エクスプレス通報サービス]-[サーバ]を選択して設定を行ってください。

1)最初の画面ではエクスプレス通報サービスの適用期間を延長させる[サービス有効期限の変更]ボタン、サービス開始後にサービスの終了を行う[サービスの終了]ボタンがあります。
 詳しくは、「2.7エクスプレス通報サービスの終了」を参照してください。

[次へ]ボタンを押すと、お客様情報の設定画面が表示されます。

エクスフプレス通報サービス設定ユーティリティ	
	エクスフルス通報サービスの設定を行います。 ・ ロクスフルス通報サービスの設定を行います。 ・ ロクスフルス通報サービスに登録することにより、システムに発生する などができます。 ・ ロクスフルス通報サービスの説明を見る場合、ヘルフでを押して下さい。 ・ ロクスフルス通報サービスの設定を行う場合、次へを押して下さい。
	サービス有効期限の変更(<u>c</u>) サービスの終了(<u>c</u>)
	< 戻る(19) 次へ(10) > キャンセル

2) お客様に関する情報を入力します。各項目のエディットボックスをマウスでクリックする と、設定画面下部にガイドメッセージを表示しますので参考にしてください(これは以降の 画面でも同様です)。お客様が個人の場合、部署名と担当者名は入力できません。

[次へ]ボタンを押すと、サーバ本体情報の設定画面が表示されます。

エクスプレス通報サービスの設定	
お客様名称(カナ) (<u>M</u>):	□チテンシ如ウ
お客様名称(漢字) (<u>A</u>):	日電太郎
部署名 (P):	
お客様郵便番号 (乙):	183
住所(カナ) (D):	トウキョウト フチュウシ ニッシンチョウI-10
住所(漢字)(<u>R</u>):	東京都府中市日新町1-10
住所(詳細 (<u>E</u>):	
お客様電話番号(①:	(0123)45-6789
お客様メールアドレス(L):	aaa@bbb.co.jp
担当者名(カナ) (<u>c</u>):	
担当者名(漢字)(<u>G</u>):	
ב-ליאק-א $(\underline{0})$:	0123456789
説明:	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

3)サーバ本体に関する情報を入力します。装置コードは一覧から選択できますが、一覧にな い場合は入力が可能です。

[次へ]ボタンを押すと、オプション装置情報の設定画面が表示されます。

エクスプレス通報サービスの設定	
サーバ名称 (<u>R</u>):	CNES-BS2ESM133S
装置コード(<u>C</u>):	N8500-121 Express5800/160Pro
製造番号 (U):	0123456789
保証書番号(G):	9999999999
OS'情報	
os名(@):	Windows NT 4.0 Server
詳細バージョン (型):	Service Pack 3
説明: お客様が付け	たサーバ名称ロンビュータ名)を入力して下さい。
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4)オプション装置情報を入力します。[追加]ボタンを押すと、装置情報を追加できます。 リストから装置を選択して[削除]ボタンを押すと、その装置情報を削除します。

[次へ]ボタンを押すと、オプション装置情報の設定画面が表示されます。

エウスフプレス通報サービスの設定	
本体に内蔵/外付けされている装置を入力して下さい。 オフ [*] ションリスト (L) N8505-128 増設CPUボート [*] N8505-11 128MB増設メモリボート [*] N8505-07 グラフィクスアクセラレータ N8550-09 増設用B6GB HDD N8604-10 自動電源制御装置 N8570-01 106型キーボート [*] N7833-12 マウス N8571-02 15 カラーディスフ [*] レイ	追加.(<u>A</u>) 削除 (<u>D</u>)
オフション装置の追加 装置種別(I) 「増設CPU市*~ト* 増設CPU市*~ト* ・ 装置一覧(装置・増設などの本*ト* ・ 1増設などの本*ト* ・ 1増設などの本*ト* ・ 1増設などの本*ト* ・ 111 1111 <td>OK キャンセル</td>	OK キャンセル

5)本体を購入した販売店情報を入力します。販売店名は一覧から選択できますが、一覧にな い場合は入力が可能です。

[完了]ボタンを押すと、	本ユーティリティを終了します。
--------------	-----------------

エクスフプレス通報サービスの設定		
販売店名 (<u>D</u>):	日本電気糊	T
担当営業所属 (S):		×
担当営業氏名(2):		
担当営業電話番号 (P):		
担当SE所属(E):		A V
担当SE氏名(M):		
担当SE電話番号 (①):		
説明: 販売店の名称を選択	Rして下さい。一覧に無い場合は入力して下さい。 	
	< 戻る(<u>B</u>)	完了 キャンセル

2.7 電子メール経由エクスプレス通報の設定

電子メールを利用してエクスプレス通報サービスを行う場合は、以下の設定手順に従い インターネット メール通報の設定を行ってください。

- 1)コントロールパネルのESMPRO/ServerAgentのアイコンをダブルクリックします。
- 2)[全般設定]プロパティから[通報設定]ボタンを押します。
- 3) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報基本設定]を選択します。

💕 ४२-१४	ネージャ			
771N(E)	設定(S)	表示⊘	9-11D	設定情報(E)
B	· 通報基: 通報先!	本設定(<u>B</u>) リストの設定	(<u>D</u>)	
🕀 🖃 🕐	עוזל			

4) [通報手段の設定] プロパティの通報手段リストから[エクスプレス通報サービス]を選択し、[設定] ボタンを押します。

通報基本設計	έ ×
通報手段	の設定しその他の設定し
- 🗳 🏅	ALIVE2通報版 インターネット メール通報版
-10 🍐	エクスフプレス通報サービス
🗖 🔁 🡙	ページャ注通幸祝
	マネージャ通報(SNMP)
본 🧶	マネージャシ通転(TCP/IP In-Band)
부 🧶	マネージャ注通幸服(TCP/IP Out-of-Band) 🔽
[設定]	ホッシを押して、エクスフィレス通報サービスの手段および手段の設定
	ОК ヘルプ

5) [エクスプレス通報サービスの基本設定]ダイアログボックスが表示されます。

エクスフジレス通報サービスの基本設定		1
通報手段を選択し、「設定コホタンを押下して通報	ОК	
~ 和設定で行ってんてい。 「マネージャ経由」は基本設定の必要はありません。	キャンセル	
● インターネットメール 経由①	設定(<u>C</u>)	
C ダイヤルアップ経由(<u>D</u>)	^ルフ <u>゚(H</u>)	
○ マネージャ 経由(M)		

- 6)[インターネット メール経由]を選択して、[設定]ボタンを押します。
- 7) [エクスプレス通報(インターネット メール経由)]ダイアログボックスが表示されます。

エウスフプレス通報(インターネット メール経由)の基本設定		
メール サーバー (SMTP) (<u>S</u>): 電子メール アトレス(E): SMTPボート番号 (<u>P</u>): PSrc #コジーン	25 初期值①	
■58,497 /97 ▼ Date: 77一朴を送信す?	5 W	
ОК + +Уt	Z/↓	

- 8) SMTPが動作しているメールサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。たと えば、Zzz.Com または 255.255.255のように入力します。
- 9) 自分(送信者)のメールボックスの電子メールアドレスを指定してください。たとえば、 abc@Zcc.Comのように入力します。
- 10)[0K]ボタンを押して[エクスプレス通報サービスの基本設定]ダイアログボックスに戻ります。[エク スプレス通報サービスの基本設定]ダイアログボックスで[0K]ボタンを押下してダイアログボック スを閉じます。
- 11)アラートマネージャの[設定]メニューから[通報先以トの設定]を選択します。

12) IDリストからエクスプレス通報サービスを選択して、[修正...]ボタンを押します。

暁リストの設定			
ID 通報失い	通報毛約		1
レーステレー 量TCP/IP In-Band 見TCP/IP Out-of-Ban です。インターネットメール	7ネージャ通報駅(TCP/IP In. マネージャ通報駅(TCP/IP In. マネージャ通報駅(TCP/IP O. インターネットメール通報駅		道加(<u>A</u>) 修正(<u>M</u>)
日記エウスフレス通報サービス この ヘ ^{ベージャ} 器 一般りライアント通報	エクスフプレス通車服サービンス ヘページやう通車服 一・般クライアントう通車服	一般フライアント通報	
ケルーフ [*]	通報先ID		- 16加(G)
₩ ₩ ₹₩₩Ÿ₩	SNMP, TCP/IP In-Band, TCP/	/IP Out-of-Band	
			削除(E)
	開じる(<u>c</u>)	^ルブ(<u>H</u>)	

13) [ID設定]ダイアログボックスが表示されます。[宛先設定...]ボタンを押します。

ID設定		×
ID∯ :	エクスファレス注重報サービアス	死先設定(4)
通報手段(<u>M</u>):	エクスフッレス通転サービス	- スケジュール(S)
設定情報:		<u>閉じる(c)</u>
		<u>(H)</u>

14) [エクスプレス通報サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。

エクスフプレス通報サービスの設定	
通報手段:	OK
インターネット メール経由	キャンセル
~がないです。経中、を選択した場合は、窃失設定は「通報基本設	宛先設定(A)
定]で行ってください。	<u>^/l/7°(H)</u>

- 15)[宛先設定]ボタンを押します。[エクスプレス通報サービス(インターネット メール経由)の設定]ダイアログ ボックスが表示されます。
- 16) 宛先と設定情報を確認します。宛先は通報開局 FD に設定されているメールアドレスを 表示していますので、問題がない場合は変更しないでください。

エクスフッレス通報の設定		×
宛先(<u>O</u>): express@nefs.nec.co.jp		ОК
件名(<u>S</u>): Express Alert Notification		キャンセル
設定情報(1):	[設定情報の変更(M)]	<u>^⊮プ(H</u>)
[お客様属性] 個人 [お客様名称(カナ)] ニチデン如り [お客様名称(漢字)] 日電太郎 [部署名]		基本設定(B)
[お客様郵便番号] 183 [住所(カナ)] トウキョウト フチュウシ ニッシンチョウ1-10 [住所(漢字)] 東京都府中市日新町1-10	×	テストが通報(12) 開局が通報(12)

- 17)エクスプレス通報サービスの設定情報を変更したい場合、[設定情報の変更...]ボタンを 押します。インストール時の確認で使用したエクスプレス通報サービスの設定ユーティリ ティが起動されますので設定変更を行ってください。 設定を完了すると[エクスプレス通報の設定]ダイアログボックスに戻ります。
- 18) [テスト通報]ボタンを押してテスト通報を確認します。
- 19)テスト通報の結果送付先を選択して、[OK]ボタンを押します。

テスト通報結果送付先の選択	×
● 電子メール (M)	ОК
aaa@bbb.co.jp	キャンセル
○ ファウシ刹 ④	
メールアドレスを入力してください。 既定値は設定情報のお客様メールアドレスです。	

- 20)確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押すとテスト通報します。 <u>テスト通報完了後は、指定した結果送付先へのメールまたはファクシミリの到着を</u> お待ちください。テスト通報結果を確認した後で、開局通報を行ってください。
- 21)[開局通報]ボタンを押して開局通報を確認します。([開局通報]ボタンは、テスト通報完 了後に押下可能となります。) 開局通報が完了した時点でエクスプレス通報サービスが開始されます。
- 22) [OK]ボタンを押して[エクスプレス通報(インターネット メール経由)の設定]ダイアログボックスを閉じます。[OK]ボタンを押して[エクスプレス通報サービスの設定]ダイアログボックスを閉じます。

- 23) [ID設定]ダイアログボックスで、[スケジュール...]ボタンを押して、通報リトライの設定、 通報時間帯の設定を行います。 初期値は、5分間隔で72時間後までのリトライ、24時間通報可能になっています。 この値は推奨値ですから、特に問題がなければ変更しないでください。 設定を終えたら[0K]ボタンを押します。
- 24)通報手段を有効にするかどうか確認のメッセージボックスが表示されますので、[はい] を選択してください。

アラートマネー	9°• 🗵
?	通報手段:エクスフルス通報サービス は通報無効状態です。通報を行うには通報手段を有効にする必要があります。 通報手段を有効にしますか?

[いいえ]を選択してしまった場合はアラートマネージャの[通報基本設定]を選択し、[通報 手段の設定]プロパティの通報手段リストにある[エクスプレス通報サービス]の通報有効/無効ビッ トマップを有効(緑色)にしてください。

以上で、電子メール経由エクスプレス通報ができるようになります。 アラート通報機能の設定は、『ServerAgent ヘルプ』および、『アラートマネージャ ヘル プ』を参照してください。

2.8 ダイヤルアップ経由エクスプレス通報の設定

モデムを利用したダイヤルアップを利用してエクスプレス通報サービスを開始するための設定 手順についてご説明します。

- 1) コントロールパネルのESMPRO/ServerAgentのアイコンをダブルクリックします。
- 2) [全般設定]プロパティから[通報設定]ボタンを押します。
- 3) エクスプレス通報サービスの設定情報を変更したい場合、アラートマネージャの[ツール]メ ニューの[エクスプレス通報サービス]を選択します。インストール時の確認で使用したエクスプレ ス通報サービスの設定ユーティリティが起動されますので設定変更を行ってください。
- 4) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報基本設定]を選択します。
- 5) [通報手段の設定]プロパティの通報手段リストから[エクスプレス通報サービス]を選択して、[設 定...]ボタンを押します。

通報基本設定
通報手段の設定 その他の設定
 ▲ ALIVE通報 ▲ インターネットメール通報 ④ インターネットメール通報 ● インターネットメール通報 ● ロクスアレス通報サービス ● ヘ[*]ージャ通報(SNMP) □ マネージャ通報(CCP/IP In=Band) □ マネージャ通報(TCP/IP Out=of=Band)
「「設定…」本物を押して、エクスフッレス通報サービスの手段および手段の設定
OK ヘルプ

6) [エウスプレス通報サービスの基本設定]ダイアログボックスが表示されます。

エクスプレス通報サービスの基本設定		
通報手段を選択し、「設定」ホタンを押下して通報 基本設定を行ってください	ок	
本本設定ですっしいたでい。 [マネージャ経由]は基本設定の必要はありません。	キャンセル	
◎ インターネット メール 経由Φ	設定(<u>C</u>)	
● ダイヤルアップ 経由(D)	^/↓フ [°] (<u>H</u>)	
○ マネージャ 経由(<u>M</u>)		

7) [ダイヤルアップ経由]を選択して、[設定]ボタンを押します。

8) [エクスプレス通報(ダイヤルアップ経由)]ダイアログボックスが表示されます。

エクスプレス通	輔(ダイヤルアッブ経由)の設定		×	
- 通報方 (((法 ● <i>シリアルホ[*]ート©)</i> ● サーバマネージンハホ [*] ート [*] ©) ● マネージャ転送(E)	情報開設定(<u>A</u>)	ок キャンセル ^ルフ [°] (<u>H</u>)	
- 通報先 →次: 二次:	宛先 0423-40-7090	אלאב 	テスト(1)わ テスト(2)知	
- エクスフ [*] レス通報サービス				

9) [情報設定...]ボタンを押します。ユーザID(ユーザシステムコード)を確認し、必要で あれば通報コメントを入力してください。本体NvRAMが搭載されている機種の場合、[NvRA M情報参照]ボタンを押してオフライン保守ユーティリティの設定を参照することができま す。[OK]ボタンを押すと[エクスプレス通報(ダイヤルアップ経由)の設定]ダイアログボックスに戻り ます。

通報情報の設定	×
□ NVRAM 情報参照	ОК
፰─ቻነ̀D(<u>U</u>): 9999999999	キャンセル
- 〕通幸限コメント	<u>^⊮プ(Ħ</u>)
① CNES-BS2ESM133S	
0	
3	
(<u>4</u>)	

- 10) 通報方法でシリアルポートを選択して、[通報先設定]ボタンを押します。
- 11)シリアルポートを選択した場合、以下のダイアログボックスを表示します。電話番号(一次)は通報開局FDに設定されている電話番号を表示していますので、問題がない場合は 変更しないでください。

通報先の設定(シリアルポート経由)	×
□ NvRAM 情報参照	
- 通報先	אינאב -
→次①: (0123)45-6789 [
二次②: [[
- シリアルポートの設定	リダイヤル間隔(<u>D</u>): 60 秒
シリアルポート(S): COM1 ▼ 「リモートアクセスサービスとポートを共有する(<u>R</u>)	ጵናተቀルモート*: ◎ パルス(Ⴒ) ◎ トーン(①
ОК + +уt/ ^//7	<u>(</u> ۳

- 12) モデムが接続されているシリアルポートやモデムの設定を行います。本体NvRAMが搭載されている機種の場合、[NvRAM情報参照]ボタンを押してオフライン保守ユーティリティの 設定を参照することができます。[OK]ボタンを押すと[エクスプレス通報の設定]ダイアログボ ックスに戻ります。
- 13) [テスト通報]ボタンを押してテスト通報を確認します。
- 14) 確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押すとテスト通報します。
- 15) [開局通報]ボタンを押して開局通報を確認します。([開局通報]ボタンは、テスト通報完 了後に押下可能となります。)
 - 開局通報が完了した時点でサービスが開始されます。
- 16) [OK]ボタンを押して[エクスプレス通報サービスの基本設定]ダイアログボックスに戻ります。そ して[OK]ボタンを押してアラートマネージャの[通報手段の設定]プロパティに戻ります。
- 17) [通報手段の設定]プロパティの通報手段リストにある[エクスプレス通報サービス]の通報有効/無 効ビットマップを有効(緑色)にして[通報基本設定]ダイアログボックスを閉じます。

以上で、ダイヤルアップ経由エクスプレス通報ができるようになります。 アラート通報機能の設定は、『ServerAgent ヘルプ』および、『アラートマネージャ ヘ ルプ』を参照してください。

2.9 マネージャ経由エクスプレス通報の設定

マネージャを経由して、マネージャから電子メールまたはモデムを使用したダイヤルアップを 利用してエクスプレス通報サービスを開始するための設定手順についてご説明します。 マネージャ経由エクスプレス通報を行う場合は、まずマネージャの設定を行いマネージャか ら電子メールまたはダイヤルアップによるテスト通報(到達確認通報)が正常に行われるこ とを確認した後にエージェントの設定を行ってください。

2.9.1マネージャの設定 - ダイヤルアップ経由

マネージャからモデムを使用したダイヤルアップを利用してエクスプレス通報サービスを開始 するための設定手順についてご説明します。

- 1) アラートビューアの[ツール]メニューから[通報の設定]を選択すると、アラートマネージャ が起動されます。
- 2) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報基本設定]を選択します。
- 3) [通報手段の設定]プロパティの通報手段リストから[マネージャからのエクスプレス通報]を選択して、[設定...]ボタンを押します。

通報基本設定	×
通報手段の設定 通報受信手段の設定	a a a a a a a a a a a a Ar Soo
🛛 🖨 🤌 ブリンタ出力	▲ 設定(<u>C</u>)
🗖 🚾 🤌 ページャ通報	
💻 🧉 ホッフ・アッフ・メッセーシ	
🧖 🤌 マネージャからのALIVE通報	1
🧾 🧉 マネージャからのエクスプレス通報	
📃 🤌 メール通報	
	▼ 1
・ 「暗処実「主治い素細」で、フォーンにわらのエカフュ?」	
「「「「東定二」本 メンセイ中し し、マネーツ ヤル・ワウノエリスアレ	ス通業限の意気定を打ち しくに
	OK ヘルプ

4) [マネージャからのエクスプレス通報の基本設定]ダイアログボックスが表示されます。

4	ネージャからのエクスフレス通報の基本設定	
	受信	ОК
	ホ°−ト番号(P): 31136 初期値(E)	キャンセル
	送信	^H7℃ <u>H</u>)
	保守センタの宛先の登録を行う必要があります。登録 を済ませてから通報手段の設定を行ってください。	
	宛先登録(<u>A</u>)	
	通報手段を選択し、[設定ホウン]を押下して通報基本 設定を行ってください。	
	 C インターネット メール 経由① 設定(S) アイヤルアップ 経由(D) 	

- 5) エージェントとのソケット間通信に使用するポート番号を指定します。初期値は31136で す。通常、初期値に問題がない限り設定を変更しないでください。変更する場合はエー ジェントでも同一のポート番号を指定してください。
- 6) 保守センタへの宛先の登録を行います。[宛先登録]ボタンを押下すると[通報開局FD読み 取りツール]が起動します。

通報開局FD読み取りツール	×
エクスプレス通報サービスのマネージャ転送機能を有効にするには 通報開局FD内を読み込む必要があります	n ar ar an an an ar a The second se
フロッピーディスクドライブに通報開局FDを挿入して「次へ」ボタンを押下し	てください。
通報開局FDの内容を読み取ります。	
< 戻る(B) ()次へ(N)	キャンセル

- 7) 通報開局 F Dをフロッピードライブに挿入し、[次へ]ボタンを押すと通報開局 F D の読 み取りが開始されます。読み取りが終了後[完了]ボタンを押して[通報開局FD読み取りツ ール]を終了します。
- 8) [マネージャからのエクスプレス通報]ダイアログボックスにおいて、通報手段として[ダイヤルアップ 経由]を選択して、[設定]ボタンを押します。
- 9) [マネージャからのエクスプレス通報(ダイヤルアップ経由)の設定]ダイアログボックスが表示されます。

マネージャからのALIVE通報の設定			×
Iージェントから転送されたALIVE通報デベ	∽め→括通報:	通報先設定(R)	
- 連報先 宛先	אלאב		
→次: 0423-40-7090			到達確認テスト(1)次)
二次:			到達確認テストロ次)
OK ++>\tell	<u>^⊮7°(H</u>)		

10) [通報先設定]ボタンを押します。

11) [通報先の設定(シリアル゚ート経由)]ダイアログボックスが表示されます。電話番号(一次) は通報開局FDに設定されている電話番号を表示していますので、問題がない場合は変 更しないでください。

通報先の設定(シリアルポート経由)	×
■ NVRAM 情報參照	
電話番号	אלאב
→次①: (0123)45-6789	
二次②: 「	
	リダイヤル間隔(<u>D</u>): 60 秒
ッリアルホートSJ: COM1 ▼ 「リモートアクセスサービスとホートを共有する(B)	ቃイヤルモード: ⊙ バルス@ ○ トーン①
ОК <u></u> キャンセル ^ルフ [°] Ľ	<u>1</u>

- 12) モデムが接続されているシリアルポートやモデムの設定を行います。[OK]ボタンを押 すと[マネージャからのエクスプレス通報(ダイヤルアップ経由)の設定]ダイアログボックスに戻ります。
- 13) [到達確認テスト(1次)]ボタンを押してテスト通報を確認します。
- 14) 確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンを押すとテスト通報をします。
- 15) テスト通報が正常に終了したら[OK]ボタンを押して[マネージャからのエクスプレス通報の基本 設定]ダイアログボックスに戻ります。
- 16) [OK]ボタンを押して[マネージャからのエクスプレス通報の基本設定]ダイアログボックスを閉じ ます。
- 17) [通報手段の設定]プロパティの通報手段リストにある[マネージャからのエクスプレス通報]の通 報有効/無効ビットマップを有効(緑色)にします。

以上で、マネージャ経由エクスプレス通報のマネージャ側の設定は完了しました。次にエージ ェントでマネージャ経由エクスプレス通報の設定を行ってください。

2.9.2マネージャの設定 - インターネット メール経由

マネージャから電子メールを利用してエクスプレス通報サービスを開始するための設定手順についてご説明します。

- 1) アラートビューアの[ツール]メニューから[通報の設定]を選択すると、アラートマネージャ が起動されます。
- 2) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報基本設定]を選択します。
- 3) [通報手段の設定]プロパティの通報手段リストから[マネージャからのエクスプレス通報]を選択して、[設定...]ボタンを押します。

通報基本設定	<
通報手段の設定 通報受信手段の設定	and the second se
 → プリンタ出力 ▲ 設定(2) ➡ ペーシシャ通報 ■ ポッブアップメッセージ 	and the state of the
マネージやからのALIVE通報版 1 マネージやからのエクスフレス注通報版 1 シール注通報版	A second s
[[設定…]本沙を押して、マネージャからのエクスアルス通報の設定を行ってくだ	11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 -
OK	

4) [マネージャからのエクスプレス通報]ダイアログボックスが表示されます。

7:	ネージャからのエクスプレス通報の基本設定	
	受信	ОК
	ホ°-ト番号(P): 31136 初期値(E)	キャンセル
	送信	<u>^⊮7°(H</u>)
	保守センタの宛先の登録を行う必要があります。登録 を済ませてから通報手段の設定を行ってください。	
	<u>宛先登録(A)</u>	
	通報手段を選択し、[設定ボタン]を押下して通報基本 設定を行ってください。	
	① インターネット メール 経由① 設定(S) ○ ダイヤルアップ 経由(D)	

- 5) エージェントとのソケット間通信に使用するポート番号を指定します。初期値は31136で す。通常、初期値に問題がない限り設定を変更しないでください。変更する場合はエー ジェントでも同一のポート番号を指定してください。
- 6) 保守センタへの宛先の登録を行います。[宛先登録]ボタンを押下すると、[通報開局FD読 み取りツール]が起動します。

通報開局FD読み取りツール			×
エクスプレス通報サービスのマネージャ転 通報開局FD内を読み込む必要があります	送機能を有効に	するによ	
フロッピーディスクドライブに通報開局FDを	挿入して「次へ、	」ボタンを押下してくだる	きしい。
通報開局FDの内容を読み取ります。			
	く 戻る(B)	<u> </u>	キャンセル

- 7) 通報開局 F Dをフロッピードライブに挿入し、[次へ]ボタンを押すと、通報開局FDの読 み取りが開始されます。読み取り終了後[完了]ボタンを押して[通報開局FD読み取りツー ル]を終了します。
- 8) [マネージャからのエクスプレス通報]ダイアログボックスにおいて、通報手段として[インターネット メール 経由]を選択して、[設定]ボタンを押します。
- 9) [マネージャからのエクスプレス通報(インターネット メール経由)の基本設定]ダイアログボックスが表示されます。

マネージャからのエクスフプレス通報(インターネット メール経由)の基本設定	×
メール サーバー (SMTP) (<u>S</u>): 電子メール アドレス(<u>E</u>): SMTPホート番号 (<u>P</u>): - 設定れごねン	25 初期値①	
■AAEA7 747 ▼ Date: 77-ルドを送信す	t3 (<u>D</u>)	1.4 4254 E
ОК 4+)	/セル	

- 10) SMTPが動作しているメールサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。 たとえば、Zzz.Com または 255.255.255.255のように入力します。
- 11) 自分(送信者)のメールボックスの電子メールアドレスを指定します。
 たとえば、abc@Zzz.Comのように入力します。
- 12) [0K]ボタンを押すと[マネージャからのエクスプレス通報の基本設定]ダイアログボックスに戻り ます。[マネージャからのエクスプレス通報の基本設定]ダイアログボックスで[0K]ボタンを押下し てダイアログボックスを閉じます。

- 13) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報先リストの設定]を選択します。
- 14) IDリストから[エクスプレス通報サービスを選択して、[修正...]ボタンを押します。

週報先ID		通報手段	宛先情 ▲	Selection of the
->*+		ページャj通報		追加(<u>A</u>)
≤ ホッフアッフ メッセーション ホッファッフ	バ フフドルフィー菌素品	ホップアップ メッセーシ フネージョカンドのエクファンフィ通報品		修正(<u>M</u>)
	A7 VAX2+18	メール注重報		2012A /= >
1				削床(<u>D</u>)
1			البشر	
ルーフ [*]				
通報先ゲルーフ	通報先ID			追加(G)
				修正Q)
				町16金(F)
				DI UPAN <u>ME</u> Y

15) [ID設定]ダイアログボックスが表示されます。[宛先設定...]ボタンを押します。

ID設定	×
ID型: マネーシャカいらのエクスフルス通報	(死先設定(A))
通報手段(M): マネージャからのエクスフルス通報	スケジュール(<u>S</u>)
設定情報:	閉じる(<u>©</u>)
	^⊮7°(<u>H</u>)

16) [エクスプレス通報サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。

マネージャからのエクスフプレス通報の設定		
通報手段:		OK
インターネットメール経由		キャンセル
~タシイヤルアッブ経由~を選択した場 定]で行ってください。	合は、宛先設定は〔通報基本設	<u>宛先設定(A)</u>

17) [宛先設定]ボタンを押すと[マネージャからのエクスプレス通報 (インターネット メール経由)の設定]ダイ アログボックスが表示されます。

マネージャから	のエクスフ しス通報(インターネット メール経由)の設定	×
宛先① :	express@nefs.nec.co.jp	ОК
件名(<u>S</u>):	Express Alert Notification	キャンセル
		^⊮フ [*] (<u>H</u>)
		基本設定(B)
		送信テスト(<u>e</u>)

- 18) 宛先を確認します。宛先は通報開局 F D に設定されているメールアドレスを表示して いますので、問題がない場合は変更しないでください。
- 19) [送信テスト]ボタンを押してメール到達確認をします。
- 20) [OK]ボタンを押して[マネージャからのエクスプレス通報(インターネット メール経由)の設定]ダイアログ ボックスを閉じます。[マネージャからのエクスプレス通報]ダイアログボックスにおいて[OK]ボタ ンを押してダイアログボックスを閉じます。
- 21) [ID設定]ダイアログボックスで、[スケジュール...]ボタンを押して、通報リトライの設定、 通報時間帯の設定を行います。 初期値は、5分間隔で72時間後までのリトライ、24時間通報可能になっています。 この値は推奨値ですから、特に問題がなければ変更しないでください。 設定を終えたら[0K]ボタンを押します。
- 22) 通報手段を有効にするかどうか確認のメッセージボックスが表示されますので、[はい]を選択してください。

アラートマネー	75-172-578		
?	通報手段 : マネージをからのエウスフルス通報 は通報無効状態です。通報を行うには通報手段を有効にする必要があります。 通報手段を有効にしますか ?		
e.			

[いいえ]を選択してしまった場合、アラートマネージャの[通報基本設定]を選択し、[通報 手段の設定]プロパティの通報手段リストにある[マネージャからのエクスプレス通報]の通報有効/無 効ビットマップを有効(緑色)にしてください。

以上で、マネージャ経由エクスプレス通報のマネージャ側の設定は完了しました。次にエージ ェントでマネージャ経由エクスプレス通報の設定を行ってください。

2.9.3エージェントの設定

マネージャを経由してエクスプレス通報を行う場合のエージェントでの設定手順についてご説 明します。

- 1) コントロールパネルのESMPRO/ServerAgentのアイコンをダブルクリックします。
- 2) [全般設定]プロパティから[通報設定]ボタンを押すとアラートマネージャが起動します。
- 3) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報基本設定]を選択します。



4) [通報手段の設定]プロパティの通報手段リストから[エクスプレス通報サービス]を選択し、[設定]ボタンを押します。

通報基本設	定 🛛 📉 🔀
通報手段	の設定 その他の設定
🍡 🍢 🤌	ALIVE通報
- 🔁 🦀	インターネット メール通報
-10 🤞	エクスフーレス通報サービス
🗖 🗖 🚽	ページャj通報
🗕 🚔 🧇	マネージャ通報(SNMP)
🛛 🗕 🤌	マネージャ通報(TCP/IP In-Band)
- 🗕 🧶	マネージを通報(TCP/IP Out-of-Band) 🔽
[[設定]	ホタンを押して、エクスフ しス通報サービスの手段および手段の設定
	OK ヘルプ

- エクスプレス通報サービス
- 5) [エクスプレス通報サービスの基本設定]ダイアログボックスが表示されます。

エウスフプレス通報サービスの基本設定	
通報手段を選択し、[設定]ホタンを押下して通報	ОК
~ 和設定で11つしたCV-10の必要はありません。 [マネージャ経由]は基本設定の必要はありません。	キャンセル
🔿 インターネット メール 経由①	設定(2)
 ダイヤルアップ。経由(D) 	^/レフ <u>゚(H</u>)
● マネージャ 経由(M)	

- 6) [マネージャ 経由]を選択して[0K]ボタンを押してダイアログボックスを閉じます。
- 7) [通報基本設定]ダイアログボックスで[OK]ボタンを押してダイアログボックスを閉じま す。
- 8) アラートマネージャの[設定]メニューから[通報先リストの設定]を選択します。
- 9) IDリストからエクスプレス通報サービスを選択して、[修正...]ボタンを押します。

通	職先リストの設定			×
× .	-ID			
and the second se	通報税先ID 旦 TCP/IP In-Band 旦 TCP/IP Out-of-Band □ インターネット メール □ 1727 レス通報版サービス □ ページや □ 40-b5 (m) 13542	通車報手段 マネージを)通車報(TCP/IP In マネージを)通車根(TCP/IP O インターネット メール)通車根 エクスフ[*]レス)通車根サービン ページを)通車根	宛先情報 ▲	<u>道加(A)</u> 修正(<u>M</u>) 削除(<u>D</u>)
	著著一般クライアントは運転	一般クライアントス理辛族	一般クライアントュ思報	
Г	- グルーブ			
	通報先ゲルーフ [*] 通報 神神 マネージャ SN	服先ID MP, TCP/IP In-Band, TCP/I	P Out-of-Band	追加(<u>G</u>)
				修正@)
				削除色
		閉じる(<u>c</u>)	∿⊮7°(<u>H</u>)	

10) [ID設定]ダイアログボックスが表示されます。[宛先設定...]ボタンを押します。

ID設定	×
ID型: エクスフ レス通報版サービス	· 宛先設定(A)
通報手段(M): エクスフッレス通報版サービス	スケジュール(<u>S</u>)
設定情報:	<u>閉じる(C)</u>
	<u>^∥ブ(Ħ)</u>

11) [エクスプレス通報サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。

エクスアルス通報サービスの設定	
通報手段:	OK
マネージャ経由	キャンセル
~が/セルア。1*経由、を選択」を提合け、売先設定けび通報基本設	宛先設定(<u>A</u>)
定]で行ってください。	<u>^/↓7*(H</u>)

12) [宛先設定]ボタンを押すと[エクスプレス通報サービス(マネージャ経由)の設定]ダイアログボック スが表示されます。

エウスプレス通報サービス(マネージャ経由)の設定		
「IP7ドレス(またはホスト名)①:	ОК	234 400
	キャンセル	
_ ポート番号(N):	テスト通報(T)	
31136 初期値(D)	開局通報(Q)	
	^/レプ(<u>H</u>)	

- 13)経由するマネージャのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
 IPアドレスは、255.255.255のように入力します。
- 14) マネージャとのソケット間通信に使用するポート番号を指定します。初期値は31136で す。通常、初期値に問題がない限り設定を変更しないでください。変更する場合はマネ ージャでも同一のポート番号を指定してください。
- 15) [テスト通報]ボタンを押してテスト通報を確認します。
- 16) テスト通報の結果送付先を選択して、[OK]ボタンを押します。

テスト通報結果送付先の選択	×
● 電子メール (型)	ОК
aaa@bbb.co.jp	キャンセル
○ 7ァウシミリ (<u>F</u>)	
メールアトシスを入力してください。 既完備は設定性報のお客様メールアトシスです	
マネージャでメール通報経由を選択した時のみテス	「減報結果を
送付します。マネージャでダイヤルアップを選択した」 は無視されます。	場合は本設定

17) 確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押すとテスト通報をします。 マネージャからのエクスプレス通報の通報手段として[インターネット メール経由]を選択している場合、 テスト通報完了後指定した結果送付先へのメールまたはファクシミリの到着をお待ちくだ

<u>さい。テスト通報結果を確認した後で、開局通報を行ってください。マネージャでダ作</u> *I*アップ経由が選択されている場合は、テスト結果は送付されません。

- 18) [開局通報]ボタンを押して開局通報を確認します。([開局通報]ボタンは、テスト通報
 完了後に押下可能となります。)
 開局通報が完了した時点でエクスプレス通報サービスが開始されます。
- 19) [OK]ボタンを押して[エクスプレス通報サービス(マネージャ転送)の設定]ダイアログボックスを閉 じます。[エクスプレス通報サービスの設定]ダイアログボックスで[OK]ボタンを押してダイアロ グボックスを閉じます。
- 20) [ID設定]ダイアログボックスで、[スケジュール...]ボタンを押して、通報リトライの設定、 通報時間帯の設定を行います。 初期値は、5分間隔で72時間後までのリトライ、24時間通報可能になっています。 この値は推奨値ですから、特に問題がなければ変更しないでください。 設定を終えたら[0K]ボタンを押します。
- 21) 通報手段を有効にするかどうか確認のメッセージボックスが表示されますので、[はい]を選択してください。

75-177-1970		
?	通報手段:エクスフルス通報サービス」は通報無効状態です。通報を行うには通報手段を有効にする必要があります。 通報手段を有効にしますか?	100
		No. of Concession, No. of Conces

[いいえ]を選択してしまった場合、アラートマネージャの[通報基本設定]を選択し、[通報手段の設定]プロパティの通報手段リストにある[エクスプレス通報サービス]の通報有効/無効ビットマップを有効(緑色)にしてください。

以上で、マネージャ経由エクスプレス通報ができるようになります。 アラート通報機能の設定は、『ServerAgent ヘルプ』および、『アラートマネージャ ヘル プ』を参照してください。

2.10 エクスプレス通報サービスの終了

エクスプレス通報サービスを開始すると、設定ユーティリティの[サ-ビスの終了]ボタンを押 下可能となります。契約期間終了後にもかかわらず[サービスの終了]を実行していない場合、 通報が行われ続けるため課金上問題となります。そのため契約更新しない場合は、速やかにサ ービスを終了させてください。

エクスプレス通報サービスを終了する場合は、[サービスの終了]ボタンを押下して下さい。 これ以降、アラート通知は行われなくなります。 エクスプレス通報サービスが終了すると、画面左下にエクスプレス通報が終了している旨のメ ッセージが表示され、[サービス有効期限の変更]ボタンが押下可能となります。

サービスの有効期限 : サービスは終了しています。

サービスを再開するためには、[サービス有効期限の変更]ボタンを押下して期限延長キーを入 力して下さい。期間延長キーは契約更新を行うと入手できます。

エクスフプレス通報サービス設定ユーティリティ	
	ビクスアルス通報サービスの設定を行います。 ・ ウスフルス通報サービスの設定を行います。 き言情報を電子メールやモデム経由で保守センタに自動通報する ことができます。 ・ ウスフルス通報サービスの説明を見る場合、 ヘルフ を押して 下さい。 ・ ウスフ いス通報サービスの設定を行う場合、 次へ を押して 下さい。 <u> </u>
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

3 クライアント監視機能のセットアップ方法

3.1 セットアップに必要な契約

セットアップを行うには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

1) クライアント装置のH/W保守契約

クライアント装置のH/W保守契約がお済みの場合、無料でサービスをご利用いただけます。

契約内容の詳細については、購入された販売店にお問い合わせください。

2)通報開局FD

クライアント装置のH/W保守契約がお済みの場合、無料でサービスをご利用いただけます。

契約後送付される通報開局FDが必要となります。まだ到着していない場合、通報開局 FDが到着してから、セットアップを行ってください。

3.2 セットアップの方法

通常のエクスプレス通報サービスのセットアップ方法に従ってインストールを行えばクライ アント監視機能のセットアップも行います。

エクスプレス通報サービスの設定については、「2 セットアップの方法」を参照して下さい。

3.3 クライアントへのDMITOOLのインストール

設定ユーティリティでエクスプレス通報サービスクライアント監視機能の設定を行う前に、 クライアント装置にDMITOOLがインストールされている必要があります。お客様のお持ちのク ライアントにバージョン5.0以前のDMITOOLがインストールされている場合、バージョン5.1以 上のDMITOOLにアップデートする必要があります。

DMITOOLのアップデートについては、CD-ROM媒体の次のディレクトリに格納してあるセット アップカードを参照してください。

ESMPRO¥1386¥AMEXP¥ExPC¥Document

- DMI_UP.RTF : クライアント側システム監視サービス(DMITOOL) アップデート手順書

特にH/W保守契約があるクライアントについては、バージョン5.1のDMITOOLのインストール を完了した状態で電源をONにして設定ユーティリティを起動してください。これは、設定ユー ティリティの初回起動時にH/W保守契約があるクライアントの設定を行う必要があるからです。

DMITOOLのインストール・アップデートに関しては、オンラインマニュアル等を参照してください。

3.4 エクスプレス通報サービス クライアント設定ユーティリティ

エクスプレス通報サービス クライアント設定ユーティリティでは、クライアント監視機能 に関する設定を行います。

設定を行う前に次のことをご確認ください。

・サーバとクライアントがネットワークで物理的につながっていることを確認してください。

・H/W保守契約があるクライアントにバージョン5.1のDMITOOLがインストールされていて、 電源がONになっていることを確認してください。

アラートマネージャ設定ツールの[ツール]メニューの[エクスプレス通報サービス]-[クライアント]を選択して 設定を行ってください。

次の図は、設定ユーティリティを起動した画面です。初期状態ではクライアントは一台も登録されていません。

💕 エクスフ゜l	/ス通報サービス!	フライアント設定ユーテ	オリティ			- 🗆 ×
7711UE)	りライアント(の)	∧μフ ^{°(<u>H</u>)}	A CONTRACTOR OF THE OWNER OWNE	e de de de de	a a a a des	
登録台数	登録台数 0台 / 契約台数 0台					
番号	92563-1-1-1	H/W保守契約	IPアドレス	状態	郵便番号	設置
ヘルフで表示するには [F1] を押してください。 //						

3.4.1 開局通報FDの読み込みとクライアントの追加

お客様が最初に行う作業は、「開局通報FDの読み込み」です。[ファイル]メニューの [開局通報FDの読み込み]を選択してください。

開局通報FD登録		×
開局通報FDを	フロッッビードライブに捕	えしてください
流行	キャンセル	<u>^⊮フ*(Ħ)</u>

お手元にお持ちの開局通報FDをフロッピードライブに挿入して[続行]をクリックして ください。読み込み作業を続けます。

開局通報FDに登録されているH/W保守契約を結ばれたクライアントが表示されます(次の 図は例です。お客さんの契約によって、画面に表示される情報は異なります)。

お客様がクライアントをコンピュータ名で管理するか、IPアドレスで管理するかによっ て左から4列目に表示される情報が変わります。

prescription product	/ス通報サービス ゲ	ライアント設定ユーテ	イリティ			_ 🗆 ×
7711UE)	<u> クライアント(C)</u>	Λルフ [°] (<u>H</u>)				
登録台数	登録台数 2台 / 契約台数 5台					
番号	92563-1-1	H/W保守契約	コンビ*ュータ名	状態	郵便番号	設置
 0001	TEST980001	有	TESTCL IENT0001	未動作	183-0036	3階
 0002	TEST980002	有	TESTCLIENT0002	未動作	183-0036	3階
0003	TEST980003					
0004	TEST980004					
0005	TEST980005					
I						
I						
I						
I						
I						
I						
I						
I						
I						
						•
ヘルフ を表示するには [F1] を押してください。 //						

例の画面では、お客様は、クライアント5台分の保守契約をされていて、そのうち2台とH /W保守契約を結ばれています。H/W保守契約を結んでいない3台分については、お客様で自 由に登録・削除することができます。

登録されていない契約分については、行をマウスなどで選択後、[クライアント]メニ ューの[クライアントの追加]を選んでください。クライアントをコンピュータ名で管理 している場合、コンピュータ名を、IPアドレスで管理している場合、IPアドレスを入力し てください。コンピュータ名・IPアドレスは一意的に定まっている必要があります。また、 登録するクライアントには、バージョン5.1のDMITOOLがインストールされていて電源がON になっている必要があります。

クライアントの登録	×
コンピュータ名 を入力してください。	登録(<u>R</u>)
コンピュータ名:	キャンセル
J	

3.4.2 構成情報の設定

登録したクライアントについての情報を変更するには、画面でクライアントを選択後、 [クライアント]メニューの[構成情報の設定]を選んでください。

H/W保守契約があるクライアントかお客様が入力したクライアントかによって変更できる 項目が異なります。編集用のボックスが白い項目だけが変更可能です。

構成情報	×
コンビュータ名	TESTCLIENT0001
システムコート	TEST980001
os:名(<u>0</u>)	Windows95
機種名(P)	PC-9821 Xa10
号機番号(<u>S</u>)	
製造元(<u>M</u>)	NEC Corporation
郵便番号(<u>Z</u>)	183-0036
住所(A)	東京都府中市日新町1-10
設置場所(<u>F</u>)	3階
備考(山)	テスト用
担当営業氏名(N)	
担当営業電話番号(1)	
	OK キャンセル ヘルフ [®] (<u>H</u>)

3.4.3 **障害情報の一括設**定

クライアントにどのような障害が起こったときに通報するかを変更することができます。 [クライアント]メニューの[障害通報の一括設定]を選んでください。

障害監視の一括設定	×
障害監視を行う項目をチェックしてください。 ▼▼ ジステム監視(S)	
 ディスク監視 ディスク空き容量監視(P) ・SMART監視 ■ メモリ監視(M) ・スワッフ 容量監視 ・ECC メモリ監視 	本体監視 「温度監視① 「ファン監視① 「電圧監視② ・筐体開閉監視
ОК	キャンセル <u>ヘルフ (H)</u>

システム監視のチェックボックスのチェックが無い場合、通報はしません。システム監 視のチェックボックスのチェックをした場合のみ通報を行います。

システム監視にチェックをした時に他のチェックを一切していなくてもディスクSMART監 視と筐体開閉監視を行います。

メモリ監視にチェックをした場合、スワップ容量監視とECCメモリ監視の2つを行います。 [OK]ボタンをクリックすると設定を始めます。登録されていて電源がONになっている すべてのクライアントに設定を行うため数分以上かかる場合があります。

3.4.4 クライアントの削除

お客様が登録されたクライアントは登録の削除をすることができます。画面でクライア ントを選択後、[クライアント]メニューの[クライアントの削除]を選んでください。

3.5 クライアント監視機能のアンインストール

クライアント監視機能のみのアンインストールは行えません。エクスプレス通報サービスを アンインストールしてください。

4 注意事項

4.1 削除時のご注意

エージェント(ESMPRO/ServerAgent)を削除するには、前もってエクスプレス通報サービスを削除してください。

4.2 モデム

ダイヤルアップ経由エクスプレス通報で使用するモデムは以下のものをご利用ください。

ダイヤルアップ経由エクスプレス通報用指定モデム(以下のいずれか): COMSTARZ MULTI 14411, 288, 336, 560, 56011

4.3 クライアント監視機能

クライアントの動作(未動作・動作中)は、エクスプレス通報サービスクライアント設定ユー ティリティ起動時に行います。クライアントの動作状況の変更をされた場合、一度設定ユーテ ィリティを終了して再起動してください。

クライアントにバージョン5.1以上のDMITOOLがインストールされていてことを確認してください。以前のバージョンをお使いの場合はアップデートしてください。